

我等の友 楽友会

東京六大学混声合唱連盟

楽友会が六連の新しい仲間として加盟したのが今年の2月です。しかしある代表委員はいみじくもこんな事を言いました。「楽友会はずっと以前からの古い仲間のような気がする」と、楽友会は加盟後1年も経過しない今日すでに混声合唱の普及、発展を目的とする六連の中心的存在となりました。その楽友会が今ここに第13回目の定期演奏会を持つあたり我々の期待するところ大なるものがあります。彼等ほど自分達の演奏会を大事にするものはいません。彼等のレパートリーのひとつひとつに与えられた発表の場は一回しか持たないことを原則としているからです。それ故又彼等は演奏会を最大限に利用します。ともすれば利益を上げることの一つの目的にしがちな今日の学生合唱演奏会に於て彼等はそんな事を無視します。彼等の望むものは終った時の感激と満足感なのです。今や技術的にも岡田忠彦氏、若杉弘氏指導の下混声合唱界のトップレベルに位せんとする楽友会は今日の演奏会を自らの力で大成功のうち感激の涙と共に幕を閉じる事ができることと確信しております。

関西学院大学混声合唱団エゴラド

此の度、慶応義塾楽友会の皆様、第13回定期演奏会を開催されるにあたり、関西学院大学混声合唱団エゴラド部員一同、心よりお祝い申し上げます。

今年は春の神戸国際会館ホール、それに6月の東京神田共立講堂に貴楽友会とステージを共にいたしまして、たいへん有意義な年でした。神戸のステージでは慶応の皆様のとんとりと落ち着いた清楚なステージに感動し、又東京では、ステージ後のパーティーで音楽が結ぶ友情に部員全部が一つにとけ合い、ほんとうに遠い昔からの友達の様な気持を抱かせました。

貴楽友会とのおつき合いはまだ短いものですが、こんなにまで親しみを感じさせ、なつかしさを感じさせるのはいったいどうした事でしょう。私達エゴラド部員は、これからも皆様との友情を育んでいく事に誇りを感じております。現在は新メンバーが活動範囲を広めておりますが、4年生の築いた貴楽友会との交歓会の基盤はたいへん貴重なものと思います。これからも共に手を取り合って発展して行こうではありませんか。

おわりに、皆様の日頃の練習の結晶が、今宵このステージで充分発揮されることを確信致しますと共に、来年春の演奏旅行、並びに6月の私達との交歓会に向けて、これからも絶ゆみなく前進される事を心よりお祈り致します。